

令和 4 年度京都市国民保護計画変更に係る新旧対照表

項	現 行	修 正 案	修正理由
1	<p>第 1 編 総論</p> <p>第 1 章 目的、市の責務、計画の位置付け、構成等</p> <p>京都市は、昭和 32 年 10 月に全世界の人々と相携えて、世界恒久平和の理想を実現するため、平和都市宣言を行うとともに、昭和 53 年 10 月に全世界の人々が、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由に集い、自由な文化交流を行う都市であるという世界文化自由都市宣言を行っている。また、友好的交流により世界平和の基礎を確立することを念願し、世界 9 都市と姉妹都市盟約を締結するなど、戦後一貫して、平和を都市の基本理念として施策を推し進めてきた。また、平成 31 年 3 月に、「京都市レジリエンス戦略」を<u>策定し、レジリエンスの理念を政策に反映することにより、ウイズコロナ社会、アフターコロナ社会においても、あらゆる危機を乗り越え、将来にわたって人々がいきいきと暮らせる、魅力と活気に満ちたまちを目指す「レジリエント・シティ」の実現及び「誰一人取り残さない」SDGs の達成を目指す。</u></p> <p>(略)</p>	<p>第 1 編 総論</p> <p>第 1 章 目的、市の責務、計画の位置付け、構成等</p> <p>京都市は、昭和 32 年 10 月に全世界の人々と相携えて、世界恒久平和の理想を実現するため、平和都市宣言を行うとともに、昭和 53 年 10 月に全世界の人々が、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由に集い、自由な文化交流を行う都市であるという世界文化自由都市宣言を行っている。また、友好的交流により世界平和の基礎を確立することを念願し、世界 9 都市と姉妹都市盟約を締結するなど、戦後一貫して、平和を都市の基本理念として施策を推し進めてきた。また、平成 31 年 3 月に、「京都市レジリエンス戦略」を、<u>令和 3 年 10 月には「京都市 SDGs 未来都市計画」を策定し、「誰一人取り残さない」SDGs の達成、「レジリエント・シティ京都」の実現を目指すとともに、SDGs とレジリエンス、地方創生の更なる融合により、しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる都市の実現を目指している。</u></p> <p>(略)</p>	<p>「SDGs とレジリエンスの融合」の概念を追記</p>

令和4年度京都市国民保護計画変更に係る新旧対照表

資料 1 1

項	現行	修正案	修正理由
9	<p>(4) 人口分布</p> <p><u>平成27年10月1日</u>現在で実施された国勢調査の結果による京都市の人口は、<u>1,475,183</u>人(男 <u>699,748</u>人、女 <u>775,435</u>人)で、世帯数は<u>705,874</u>世帯である。最も人口が多い行政区は伏見区(<u>280,655</u>人)で、京都市全体の人口の19.0%を占めており、次いで右京区(<u>204,262</u>人)、左京区(<u>168,266</u>人)の順となっている。人口密度では、中京区(<u>14,756</u>人/k㎡)、下京区(<u>12,193</u>人/k㎡)、上京区(<u>12,107</u>人/k㎡)の順となっており、都心部に人口密度の高い行政区が集中している。</p> <p>人口を年齢別に見ると、15歳未満人口が総人口に占める割合は<u>11.3%</u>、15～64歳人口は<u>62.0%</u>、65歳以上人口は<u>26.7%</u>となっている。全国では65歳以上人口の割合は<u>26.6%</u>であり、同程度の高齢化率を示している。</p>	<p>(4) 人口分布</p> <p><u>令和2年10月1日</u>現在で実施された国勢調査の結果による京都市の人口は、<u>1,463,723</u>人(男 <u>692,279</u>人、女 <u>771,444</u>人)で、世帯数は<u>729,524</u>世帯である。最も人口が多い行政区は伏見区(<u>277,858</u>人)で、京都市全体の人口の19.0%を占めており、次いで右京区(<u>202,047</u>人)、左京区(<u>166,039</u>人)の順となっている。人口密度では、中京区(<u>14,910</u>人/k㎡)、下京区(<u>12,210</u>人/k㎡)、上京区(<u>11,924</u>人/k㎡)の順となっており、都心部に人口密度の高い行政区が集中している。</p> <p>人口を年齢別に見ると、15歳未満人口が総人口に占める割合は<u>10.5%</u>、15～64歳人口は<u>61.3%</u>、65歳以上人口は<u>28.2%</u>となっている。全国では65歳以上人口の割合は<u>28.6%</u>であり、同程度の高齢化率を示している。</p>	時点修正
項	現行	修正案	修正理由
10	<p>(8) 文化財等</p> <p>世界遺産に登録されている14の社寺等をはじめ、<u>令和3年4月1日</u>現在、<u>1,889</u>件の重要文化財(内、国宝216件)があり、観光名所、旧跡も数多く存在する。これら文化財の武力攻撃災害に対する保護は、市にとって重要な課題である。また、これらの観光を目的として、年間を通じて府内のみならず、国内外からも多数の観光旅行者等が訪れている。京都市における令和元年の観光旅行者等は5,352万人である。更に、外国人観光客数については、令和元年の宿泊施設利用外国人客数は380万人となっている。(※なお、令和2年(<u>追記</u>)は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数の<u>調査</u>は行っていない。)</p>	<p>(8) 文化財等</p> <p>世界遺産に登録されている14の社寺等をはじめ、<u>令和4年4月1日</u>現在、<u>1,898</u>件の重要文化財(内、国宝216件)があり、観光名所、旧跡も数多く存在する。これら文化財の武力攻撃災害に対する保護は、市にとって重要な課題である。また、これらの観光を目的として、年間を通じて府内のみならず、国内外からも多数の観光旅行者等が訪れている。京都市における令和元年の観光旅行者等は5,352万人である。更に、外国人観光客数については、令和元年の宿泊施設利用外国人客数は380万人となっている。(※なお、令和2年及び<u>令和3年</u>は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数の<u>推計</u>は行っていない。)</p>	時点修正